

## 令和2年度山口県産業労働懇話会の概要について

### 1 開催日時

令和2年11月17日（火）13：30～15：30

### 2 開催場所

県庁共用第3会議室

### 3 出席者

労働者代表 山本委員、藤田委員、倉重委員、田中委員、石田委員  
使用者代表 畑委員、梅林委員、福嶋委員、橋本委員  
学識経験者 宮地委員、吉村委員、松永委員、西原委員  
(以上15名中13名出席)

### 4 議事

「若者の県内就職促進」を論点として質疑応答及び意見交換を行った。

#### 《主な意見等》

- ・県外に出た若者が帰ってこない。「ふるさと便」のようなもので県外の学生に企業をPRできるツールがあれば良い。
- ・今の若者の傾向は、仕事と自分の時間を割り切っており、給料が高ければ良いというよりは、福利厚生や有休の充実を求めている。
- ・企業規模を大きくしなければ、働き方改革と若者が求めている幸せを実現することは難しいと考えている。
- ・県のいろいろな取り組みについて、SNS等を使ってこまめに若者に発信し、もっと広く周知することが必要である。
- ・若者が定着するためには、街づくり、大学・専門学校の選択肢の充実、就職先の確保、最低賃金の底上げによる地域間格差の是正、年休取得の改善、余暇のための環境充実などを整えることが必要である。
- ・学生の地元への就職意欲を高める工夫が必要である。
- ・最近、奨学金をもらっている大学生の率が高いため、賃金、手当の高い大企業に目が向き易い。  
小・中学生のうちから地元の中小企業の魅力を伝えていくことも必要と考える。
- ・就職ガイダンスにおいては、大企業に偏ることのないよう、幅広く企業の魅力を学生に経験してもらうために、ある程度強制的に誘導して欲しい。